



## 主要な農作物の生育情報

平成27年度 第7号

(平成27年10月7日)

福島県農林水産部農業振興課



### 【水 稲】

出穂期は平年に比べ早まったものの、8月中旬から9月上旬にかけての低温・日照不足により、登熟日数は平年に比べ長くなっています。

農業総合センター調査の成熟期は、本部の5月1日植え「ひとめぼれ」で平年より早まりましたが、それ以外は平年より遅くなりました。

県内の刈取作業は、地域によって異なりますが始期が平年並から遅れており、9月30日現在の進捗率は18%で昨年同期(24%)より遅れています(県農林事務所調べ)。

表1 水稲主要品種の成熟期と登熟日数(農業総合センター)

場 所	品 種	田植日 (月日)	成熟期			登熟日数		
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	本年 (日)	平年 (日)	平年差 (日)
本 部 (郡 山)	ひとめぼれ	5. 1	9. 5	9. 9	- 4	42	38	+ 4
	コシヒカリ	5. 1	10. 3	9. 21	+12	61	43	+18
	ひとめぼれ	5. 15	9. 23	9. 14	+ 9	55	41	+14
	コシヒカリ	5. 15	—	9. 24	—	—	43	—
会津地域研究所 (会津坂下)	ひとめぼれ	5. 20	9. 12	9. 11	+ 1	43	40	+ 3
	コシヒカリ	5. 20	9. 20	9. 19	+ 1	46	43	+ 3
浜地域研究所 (相 馬)	ひとめぼれ	5. 10	9. 13	9. 11※	+ 2	46	40※	+ 6
	コシヒカリ	5. 10	9. 29	9. 25※	+ 4	54	46※	+ 8

(※浜地域研究所の平年は前4ヵ年の平均値を示す。)

### 【野 菜】

#### 1 ブロッコリー

定植は平年並の8月上旬から下旬にかけて行われ、8月中旬からの降雨により生育は良好でした。収穫は9月下旬から始まり、10月中旬から下旬頃にピークになる見込みです。

#### 2 秋冬ニラ

8月中旬以降の低温、寡照により生育が一時停滞し、一部ほ場では2年株を中心に倒伏が見られましたが、現在はほぼ平年並の生育となっています。10月中下旬から2年株より順次捨て刈りが行われる見込みです。

#### 3 いちご

8月中旬以降、平年より低温で経過したことから花芽はやや早く分化しましたが、定植作業は平年並の9月上旬から順次行われ、現在は、概ね順調に生育しています。マルチがけは平年並の10月中旬からとなり、生育の良好なほ場では、11月中旬頃から収穫が始まる見込みです。

#### 4 夏秋トマト

8月中旬以降の低温、寡照により、現在収穫が行われている果房は平年より着果数が少なくなっていますが、主枝の摘心作業が平年並に9月中旬から行われており、収穫は10月下旬から11月上旬頃まで行われる見込みです。

病害虫の発生は、灰色かび病の発生程度が高いほ場が見られます。

## 【果 樹】

### 1 りんご

#### ア 果実肥大（果樹研究所 10月1日現在 暦日比較）

「ふじ」の縦径は98%、横径が98%とほぼ平年並の状況です（現地のほ場における果実肥大もほぼ平年並の状況です。）。

#### イ 果実成熟

「ふじ」の成熟は、硬度が14.8ポンドで平年より低く、デンプン指数は3.76で消失は平年より進んでいる状況です。

## 【花 き】

### 1 ストック

年内出荷の定植は、平年並の8月上旬から下旬にかけて順次行われ、順調に生育しています。

### 2 シクラメン

一部地域で炭疽病の発生が見られますが、概ね順調に生育しています。出荷は平年並の11月上旬から始まる見込みです。

## 【飼料作物】

牧草は、9月下旬から3番草の収穫が行われています。雨天が続いたため収穫作業が遅れている牧草地が見られます。一部地域では収量がやや少ない状況です。

飼料用とうもろこしは、9月下旬に収穫最盛期を迎え、平年並の収量が予想されます。

稲WC Sは、雨天が続いたため収穫が例年に比べ遅れています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作に注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>